

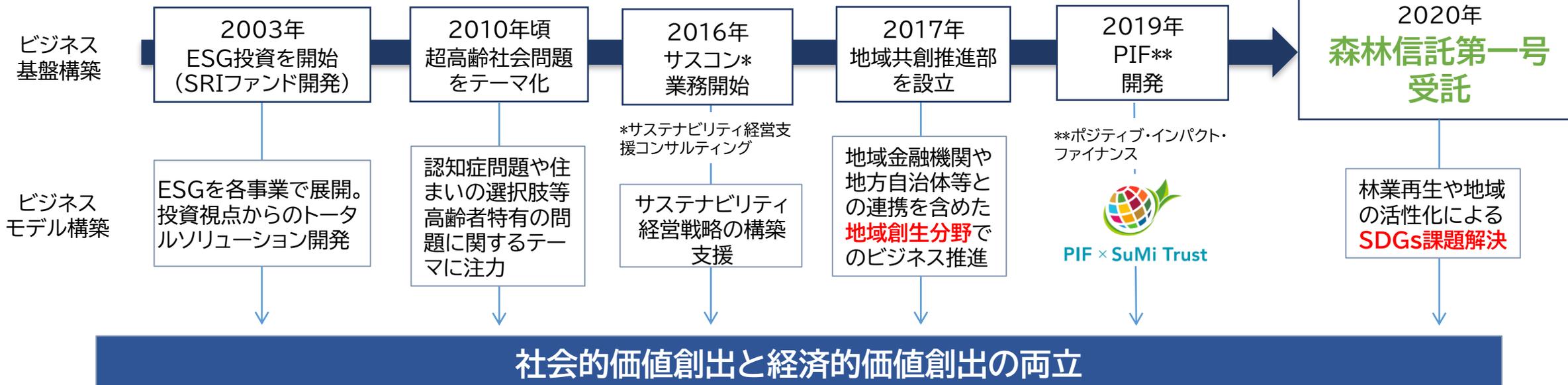
第9回プラチナ大賞最終審査発表会

森林信託事業

三井住友信託銀行株式会社

三井住友信託銀行のSDGsへの取組み

信託機能を活かして、社会的課題解決型ビジネスを推進



お客さまや社会への良い影響
“ポジティブインパクト”
(豊かな未来の開花)

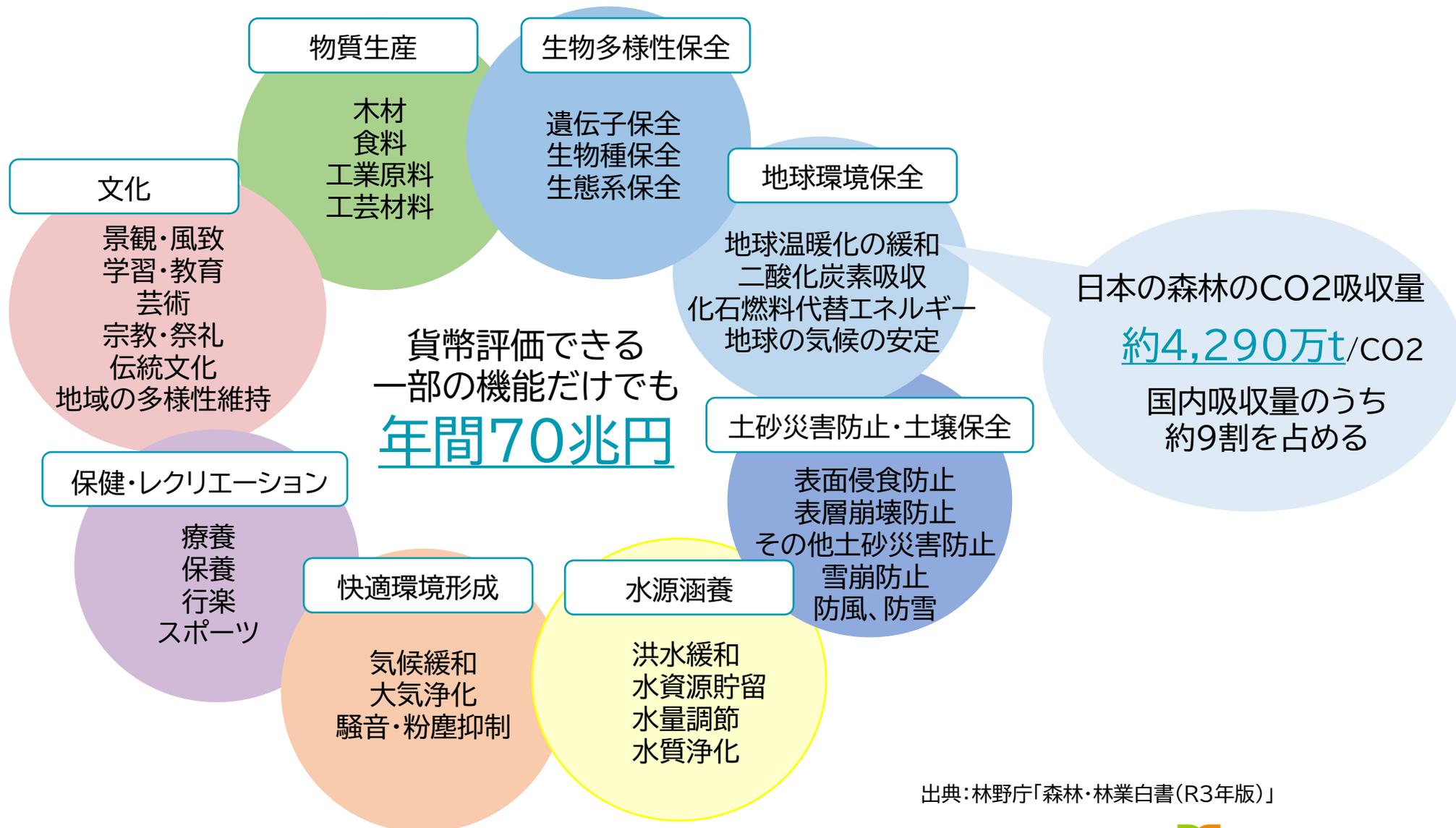


好循環の実現

信託の力で、新たな価値を創造し、
お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる。

企業価値向上

森林がもつ多様な機能



出典:林野庁「森林・林業白書(R3年版)」

社会的課題を抱える日本の森林

日本は世界有数の森林国

国土の3分の2は森林

国土面積
3,780万ha



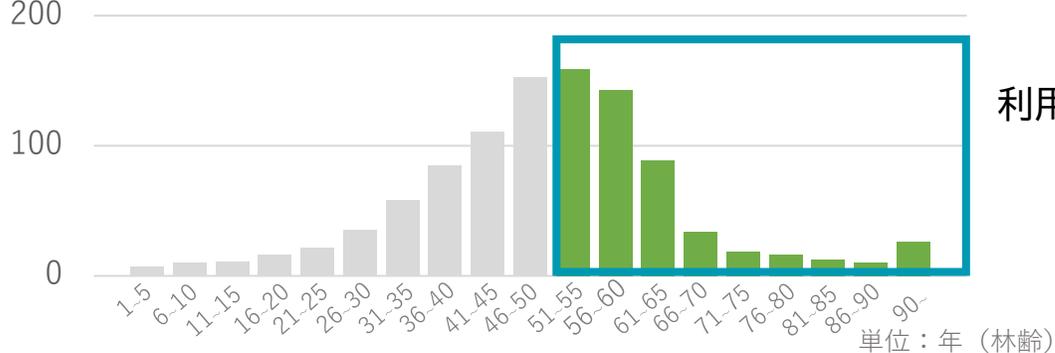
森林資源は充実

単位：億m³



人工林は本格的な利用期が到来

単位：万ha



各出典：林野庁「森林資源の現況」(H29/3/31現在)

利用が進まず悪影響が拡大

<令和2年7月豪雨による山地災害(熊本県芦北町)>

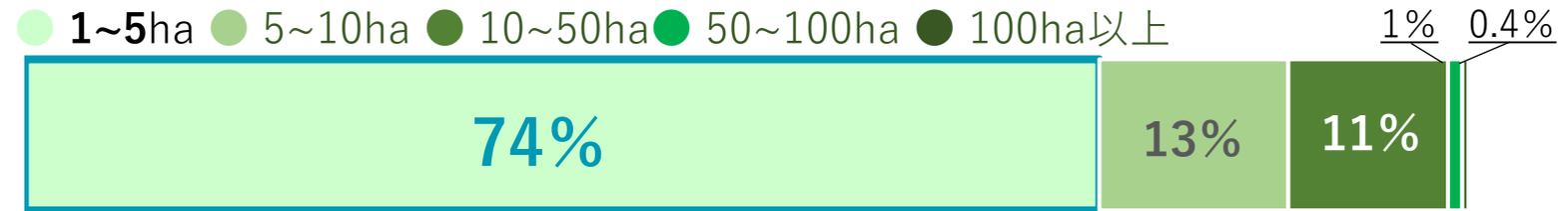


出典：林野庁「森林の機能を活用した「緑の国土強靱化対策」」

社会的課題の原因

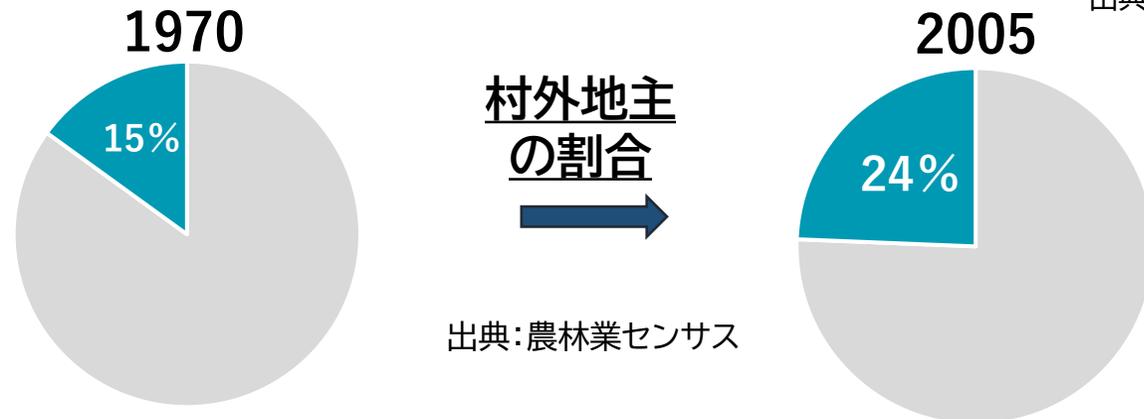
★小規模零細所有形態

林家1戸あたりの所有森林面積



出典:農林業センサス

★村外地主の増加



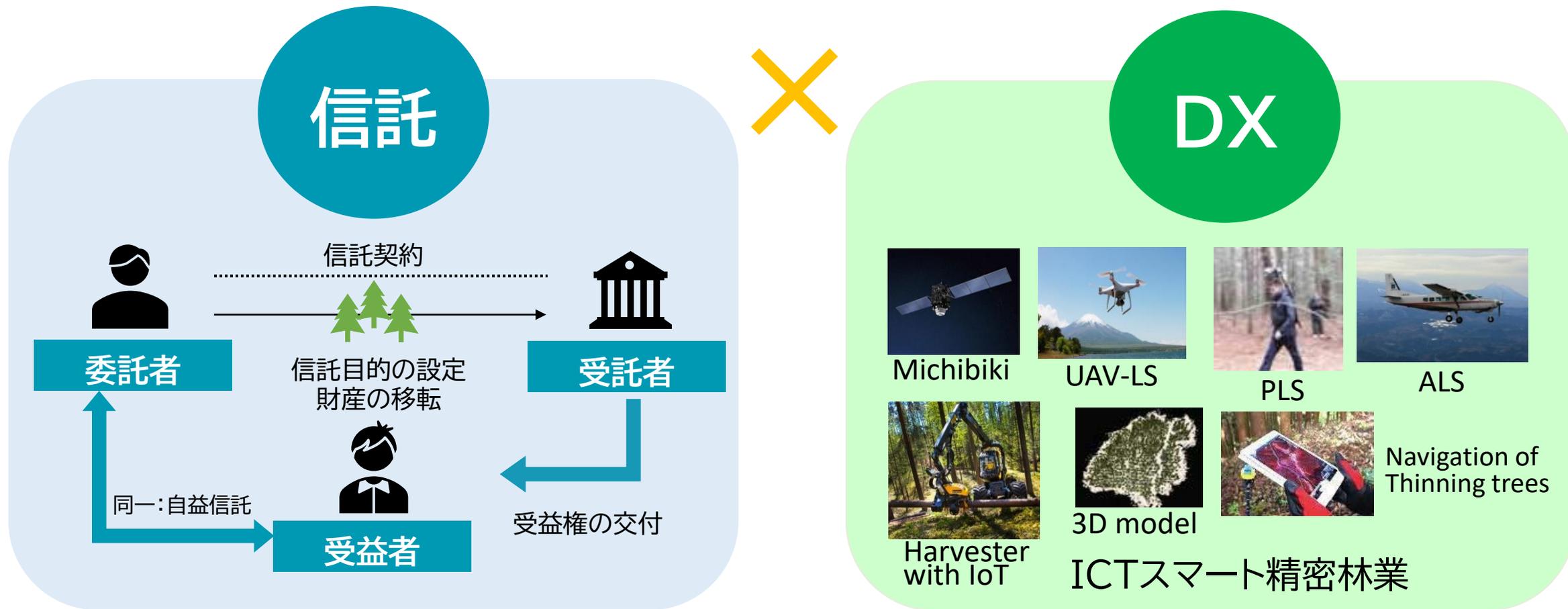
出典:農林業センサス

★所有者不明林の発生

所有者不明土地の割合 (筆数ベース)
宅地・・・17.4% 農地・・・16.9%
林地・・・**25.6%**

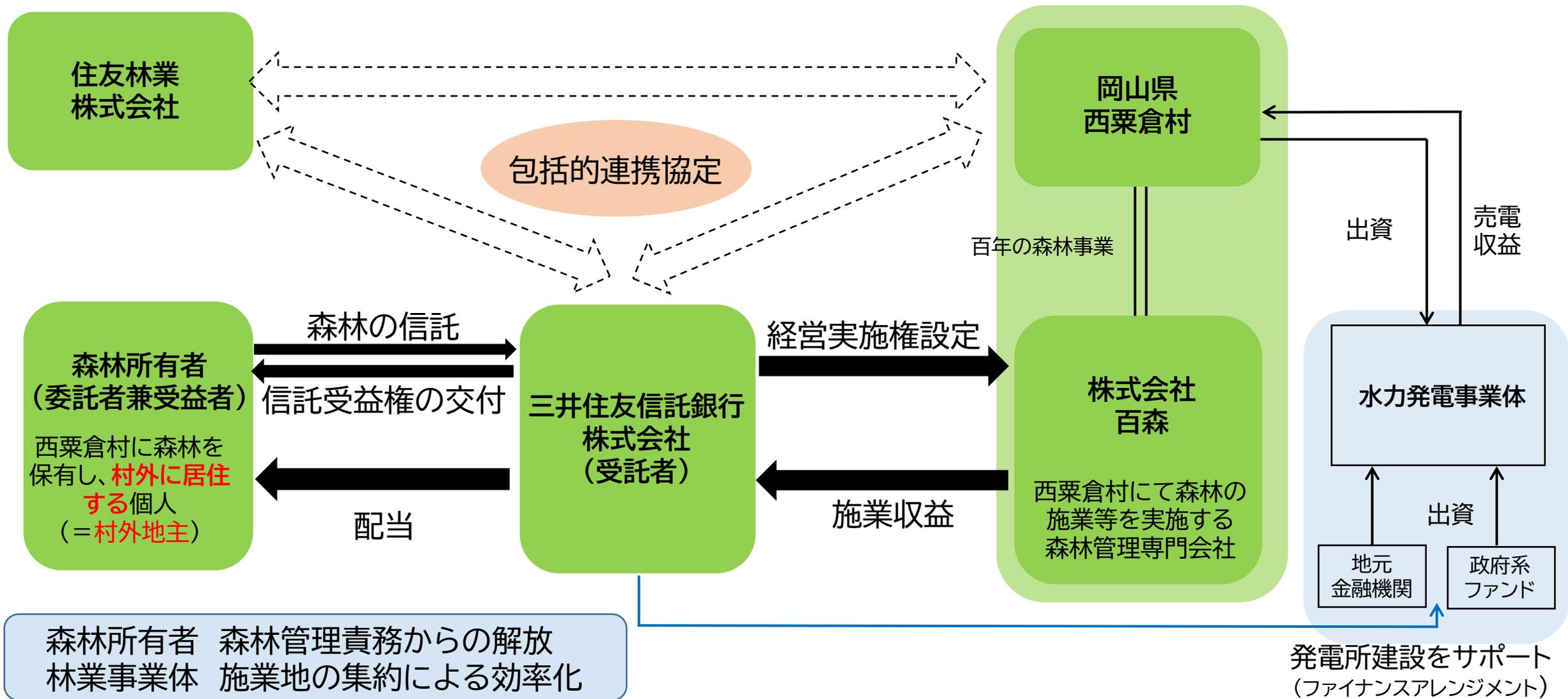
出典:国土交通省「所有者不明土地の実態把握の状況について」

信託とDX(デジタルトランスフォーメーション)の融合



信託とDXの融合により、社会的課題を解決

森林信託第一号のスキーム



森林信託開発における課題と解決策

★財産特定

価値の太宗を占める立木の特定が困難

- ・レーザーセンシング技術による単木データの取得
- ・先端技術開発を行う信州大学認定ベンチャーへの出資（産学連携）

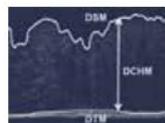
高精度の森林資源情報と地上調査など
資源管理4次元情報を一元管理



Drone

Cessna

対象面積が市町村の数千ha以上の広域の森林の地形、森林資源量等の基盤情報をつかみ、森林施業の優先度からみた広域ゾーニングと伐採対象地の素材生産量を推定する。



レーザー計測の原理
地形モデル DTM
表層モデル DSM
樹冠モデル DCHM

Backpack

セスナやドローンでは測定できない樹木の価値となる品等（製材や合板、チップ材）を区分する技術をフィンランドと国際共同で開発し、林業事業体に曲がり情報と品等区分を提供します。

3D data

提供：信州大学

★収益性の確保

原木売却による収益実現までの期間が長期

- ・小水力発電所設置をサポート。地元金融機関のファイナンスにより発電所を建設。
- ・売電収益を活用し林業事業におけるキャッシュフローの安定化を実現

★適切な森林経営体制の確保

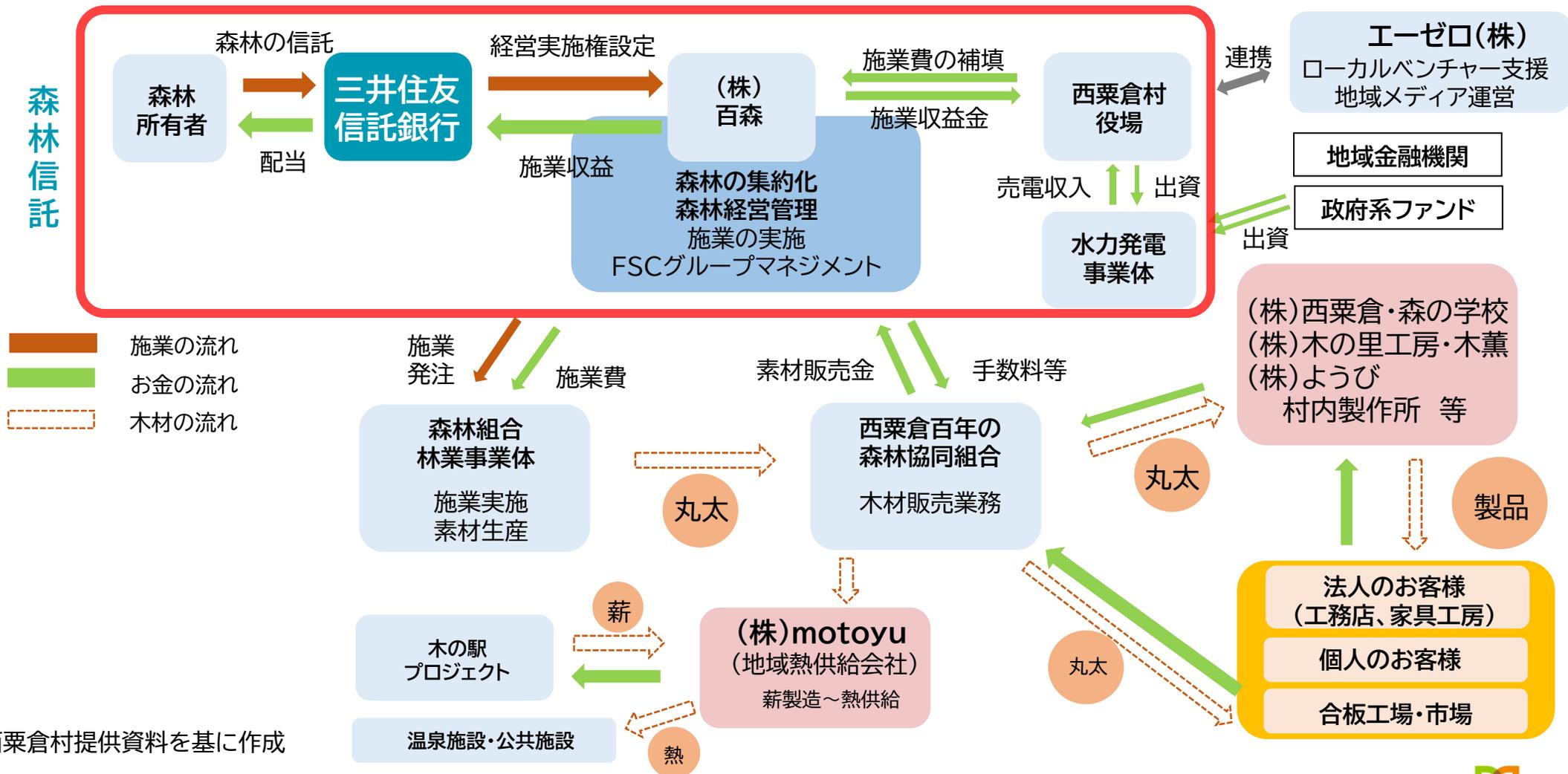
専門知識、ノウハウを必要とする林業経営への対応

- ・住友林業、西粟倉村との包括連携協定を締結。官民一体で森林経営管理体制を構築



地域経済エコシステムの構築に貢献

西栗倉村が取り組む「百年の森林事業」 (森林信託導入後)



西栗倉村提供資料を基に作成

心豊かで彩りある地域社会

自然との共生

★自然資本の活用
生態系再構築
災害防止

林業の成長産業化

★スマート精密林業
生産性向上
女性活躍推進

環境保全

★持続的な森林整備
CO2吸収量増
再生Eネギ活用

森林 信託

地方創生

★地域エコシステム構築
雇用創出
人口増加

地方創生・プラチナ社会の実現へ



Fin.

ご清聴ありがとうございました。